

1月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和5年1月末現在〕

令和5年2月10日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」は変化なし、「売上高」、「収益状況」は悪化した。

業種別では、製造業は「景況」、「売上高」、「収益状況」の全てで悪化した。非製造業は「景況」、「収益状況」は改善、「売上高」は変化なしであった。

非製造業の一部に売上げが好調な業種もあるが、製造業・非製造業とも依然として燃料や原材料等の価格高騰を背景に厳しい状況が続いている。また、非製造業のうち、小売関連で人手不足を訴えるところが見られた。

景況DI

製造業は、前月比11.6ポイント悪化の▲38.5ポイント、非製造業は、前月比13.0ポイント改善の▲17.4ポイント、全体では、前月比変化なしの▲28.6ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比27.0ポイント悪化の▲30.8ポイント、非製造業は、前月比変化なしの8.7ポイント、全体では、前月比14.2ポイント悪化の▲12.2ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比19.2ポイント悪化の▲57.7ポイント、非製造業は、前月比4.4ポイント改善の▲30.4ポイント、全体では、前月比8.2ポイント悪化の▲44.9ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和5年1月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品製造業	学校給食パン	原材料高騰が著しく、パン製造においてほぼ全ての原材料の値上げが続いている。小麦粉製品、油脂類、砂糖類は最大で50%以上の値上げを原料メーカーから要請されている。給食パンの場合、容易に価格転嫁できないので、非常に厳しい状況。
		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県12月の清酒課税移出数量は、前年同月比97.1%であった。本格焼酎については、前年同月比104.2%であった。コロナ禍による落ち込みは下げ止まったように思われるが、個人消費は不安定な状況であり3ヶ月連続の前年同月比マイナス実績であった。12月は年間で一番酒が消費される月であり、昨年に比べWithコロナでどのくらい外食での消費が伸びるか注視していた。 しかし、上記の通り前年同月比でマイナスの状況で、酒蔵にとっては厳しい状況が続いている。 ○県内当業界について 県の企画で昨年11月にリニューアルオープンした水戸駅地酒バーが好調である。 水戸の玄関口で絶大なPR効果があり、これからの水戸の梅祭りでのJRの来県者にも茨城の地酒の認知度向上が期待できる。当組合でも地酒バーでの新しい企画で協力し、需要の喚起に努める方針。
		納豆	昨年来の原材料価格等の高騰を受けて、一般消費者向けメーカーの値上げは随時行われているが、中小メーカーにとっては、まず大手が値上げをしてくれないと値上げの提案がしにくいとの声がある。メーカーによっては競合する大手メーカーの値上げを待たざるを得ないとの事であるが、いずれにしても基本的には販売価格の上昇の方向に向かっている。一方、食品全般の値上げにより、賞味期限の長い食品の買い置きに消費が流れているせいか、納豆の売り上げが下がっているとの声もある。この辺りはメーカーによって体感的に差があるようであり、取引条件、収益状況、設備操業度等もメーカー毎に違いがあるようである。ただし資金繰りに関しては、経営状況が良くなく、かつコロナ禍における融資の優遇措置で凌いでいたメーカーにとっては、今後の返済も含めて不安があるようである。一方、土産品向けメーカーは先月から値上げを行っており、収益性は向上したものの、年末年始の帰省による土産品への需要は感染者数の増加の影響を受けたのか、既に悪かった去年と同等若しくは若干下回ったとの声もある。全国旅行支援の需要もあるものの、現時点では明確に盛り上がりを実感できるほどではない。
		菓子	原材料費や経費が嵩み、商品値上げもやむを得ないが、商品の大きさや原材料の使用を工夫している。
		漬物	厳しい経営が変わらず続いている状況である。
	繊維工業	袋物	材料代の値上げが相次ぐ中で、なかなか加工賃の上昇、製品の値上げまでにはなっていない。
	木材・木材製品	製材	・構造材、造作材、羽柄材は、取扱量が横ばい、価格はほぼ保合（価格が動かずに同一水準を保っている）で推移した。 ・輸入材については、若干弱含み（価格が下がりそうな状態）で推移した。 ・原木については、入荷は順調、価格は杉柱材で強含み（価格が上がりそうな状態）、桧は強保合（価格が上昇したまま保っている状態）、その他は保合で推移した。
		県北地区プレカット	1月の加工実績は、目標の50%であった。大変厳しい状況である。2月は加工予定が入ってきたが、前月同様に厳しい状況になる見通しである。材料等の納期待ちはなくスムーズである。
		県央地区プレカット	今月は大型物件の加工があったが、全体的には低調な状況であった。 前月に引き続いて全体的に見積の動きは鈍い。 光熱費・消耗品等の経費は高騰しているが、加工賃の値上げが出来ない状況。 近隣他社の動向を見ながら値上げの検討をしていきたい。
	紙・紙加工品	段ボール	組合全体の生産数量は前年同月比92.6%であり、悪化している。原材料が値上がりし、収益が悪化しており、資金繰りに影響が出ている組合員も出ており、今後難しい経営の舵取りを強いられそうである。
	印刷	総合印刷	原材料価格の高騰、特に印刷用紙は年度内の値上げが続き、2021年11、12月と比較すると価格が1.5倍には跳ね上がり、高止まりの状況が続いている。このコスト上昇分を販売価格に十分に転嫁出来ない状況にあり、収益状況、資金繰りは依然として厳しい。
	窯業・土石製品	コンクリート製品	共同販売製品の内、物価資料により単価を決定する長尺U字溝、長尺U字溝用蓋が昨年12月に比較して5%程度、深溝U字溝が約12%単価がアップした。また、茨城県土木部公表単価の溶融スラグ混入長尺U字溝が昨年10月に比較して1～4%程度、溶融スラグ入り側溝蓋が昨年11月に比較して2～4%程度、長尺U字溝用鋼鉄製側溝蓋が昨年7月に比較して8～9%単価がアップした。
		陶磁器	産地の現況としては、人の流れが増えてきており、今後暖かくなれば、更に良くなるのではと期待している。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないが、出来る事をしたい。
	鉄鋼・金属	鉄鋼	1月の受注量、設備の操縦度は、前年同月と同程度であった。売上も前年同月と同程度であった。業界の景況は、前年同月と変わらない。半導体設備関連の部品加工受注も前月同様あまり忙しくはなかった。建機関連の部品加工受注が入り始めた。全ての金属材料・貴金属等が高値で推移、工業薬品も値上がりしている。ガソリン・灯油等の石油製品も値上がりしている。電力の価格も大幅な値上がりをしている。また、4月以降も更なる値上げの情報があるので、収益性に影響が出そうである。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和5年1月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	一般機器	生産用機械	団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が減少した事を主要因として、前年同月比88%と減少となったが、前月比では増加となった。組合員企業の従業員数はほぼ前年同月並みとなっている。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	売上高は上昇傾向であるが、部品供給が大幅に遅れており、製品が完成できずに半製品が増加している。企業によっては、半製品保管のための倉庫の確保に追われている様子。
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比1.43%増加した。前月同様、ほぼ全ての商品単価上昇の影響で取扱高は前年同月を多少上回ったものの、物量自体はかなり減少している。また、電気料金をはじめ全ての経費が上昇しているため、当組合運営の冷蔵倉庫も厳しい状況が続いている。
		セメント卸	・袋セメントの1月出荷実績は32.5千袋で、前年同月比9.1%の減少、90.9%の実績となった。 ・昨年10月に1袋当たり50円の値上げを実施した(組合員への販売価格)が、メーカー各社から更なる値上げ要請がきている。ノンブランドセメント(私製袋)の価格動向を注視しつつ組合員との情報共有化を図り販売価格への転嫁を検討中。
	小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比104.9%、客数は同99.9%、前年同月の売上を確保できた店舗は46.2%であった。数字よりも実感している客足は鈍い。
		県央地区共同店舗	館全体の既存店+新店(アミューズメント1店舗)の売上(客数)は前年同月比102%(102%)となり、売上は昨年同月よりも若干好調であった。主要業種では、食品109%(103%)、飲食114%(116%)、ファッション110%(105%)であった。12月5日よりプレミアム付き商品券が発行された。食品・飲食店舗が好調。収益状況については電気料金やチラシの作成料が値上がりしており、支出が増加している状態である。慢性的な従業員不足が続いている。
		家電	例年開催の組合行事は全て新型コロナウイルスの影響により中止になり、厳しいスタートとなった。テレビを筆頭に売上高を期待したが、実績は前年同月を下回った。春商戦に期待する。
		燃料小売	原油価格は下がってきているものの、依然として高い水準にある。1月は天候に恵まれたが、ガソリンの販売数量は、前年同月を下回った。物価上昇やガソリン以外の電気・ガス・その他の価格が上がり、消費活動が落ち込んでいるのが原因なのかは不明である。また、茨城県内の小売価格が全国平均より4.4円安い(1月30日石油製品小売市況調査)ので、収益悪化が懸念される。
		中古自動車	1月の販売台数は、前年同月比で17.4%増、販売価格は同5.4%増となり、売上高も同23.8%増と大きく増加した。売上高・販売台数・販売価格全てが前年同月を上回ったのは昨年8月以来であり、軽自動車などを中心に新車の生産遅延が解消されつつあり、中古車市場も回復基調にあると見られる。
		食料品	当組合は食品流通業であり、組合員の売上はコロナ禍の中で、食のライフラインを担っている。1月については、売上が前年同月比99%となった。要因としては、前年同月比で来店客数が97%と前年割れを起こしたのが大きな要因と思われる。このような状況でも、青果、精肉、惣菜、牛乳・ヨーグルト類等の主力部門の売上が前年同月を上回ることができたので、今後も継続できるようにしていく。鮮魚部門の売上が前年同月比94%、酒類の売上が同95%と大きく前年同月を下回ってしまったので、対策を講じていく。今後も来店客に安心・安全な店であるように、新型コロナウイルスの感染対策は万全に行っていく。
		野菜・果実	1月の取扱高は、野菜果物合計で前年同月比105.2%の取扱高となった。野菜に関しては、上旬から中旬にかけてやや安値で推移したが、下旬以降は大寒波による全国的な降雪の影響からか、一転して単価が上昇した。果物に関しては、イチゴは単価が平年並みだが、柑橘類やリンゴが全体的に数量が少なく、単価高で推移している。
	商店街	水戸	原材料の価格や光熱費の高騰で収益が悪化している。人手不足であり、人件費も上昇している。
		筑西	電気料金、ガス料金の高騰が収益の悪化に繋がっている。今後恐怖を感じる。
	サービス業	自動車整備	当月の組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車・軽自動車ともにほぼ横ばいであった。(普通車102.89%、軽自動車98.75%)
		ホテル・旅館	1月10日から全国旅行割が支援規模を縮小し再開されることとなったものの、年始は支援策がないこともあり、その後も12月までのようには宿泊客が伸びなかった。雇用については必要な人員が確保できず、予約が入っても制限せざるを得ない施設も出ている状況は変わらない。水道や電気・ガス等エネルギー価格、食材等の相次ぐ値上げなどによるコスト増については改善の兆しが見えず、結果として思うように収益が上がらない施設が多い。強い冷え込みにより電気代や燃料費の負担増加が大きな懸念材料となっている。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和5年1月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	建設業	総合	1月に大型物件の公共工事の入札があった。これらの工事は年度をまたぐ繰越工事となり、例年新年度初めに仕事量が大幅に減少する状況の改善が見込まれる。工事量の平準化に寄与して非常にありがたい改善である。
		電気工事	電気設備資材が値上がりしているため、工事契約済の顧客に対して値上がり分を価格転嫁できない分、売上が上がっても、収益が減少しているという状況も発生している。
	運輸業	軽貨物運送	当月の組合員数は110名、車両台数は142台で前月と比較して2名減少、3台減少であった。また、運送売上高については、前年同月比135.1%と増加であった。全国連合会での当月の組合員数は6,734名、車両台数7,988台で前月と比較して50名減少、61台減少であった。
		県北地区一般貨物	主要顧客の出荷物量は、年明け後減少しており売上高も減少した。燃料価格も、依然として高値で推移しており、収益も厳しい状況が続いている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食の回数増加を要望する。
	納豆	先月に引き続き新型コロナウイルスや国際情勢の変動が業界へ与える悪影響に対して、リアルタイムな支援を期待したい。また資金繰りの問題は将来的ではあるが、先手を打った対応を期待する。更には土産品業界としては全国旅行支援の拡充、継続を望んでいる。
小売業	県央地区共同店舗	協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金、またイベントで活用できる補助金などの情報や事例を教えて欲しい。また、県内で活動をPR希望の組合や団体様を紹介して頂けると幸いです。
	燃料小売	・揮発油税に課税している二重課税の廃止 ・燃料油価格激変緩和策の継続 ・新型コロナウイルスの影響に対する景気対策
建設業	総合	繰越工事（年度をまたぐ工事）の早期の入札はAクラス（入札参加の格付け）以上を対象に行われている。それ以外のクラスで繰越工事の入札を実施して頂きたい。

月次景況調査 1月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	1月	12月	前月比	1月	12月	前月比	1月	12月	前月比
景 況	▲ 28.6	▲ 28.6	0.0	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 11.6	▲ 17.4	▲ 30.4	13.0
売 上 高	▲ 12.2	2.0	▲ 14.2	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 27.0	8.7	8.7	0.0
収 益 状 況	▲ 44.9	▲ 36.7	▲ 8.2	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 19.2	▲ 30.4	▲ 34.8	4.4
販 売 価 格	32.7	34.7	▲ 2.0	11.5	19.2	▲ 7.7	56.5	52.2	4.3
取 引 条 件	▲ 16.3	▲ 20.4	4.1	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 3.9	▲ 8.7	▲ 21.7	13.0

中小企業月次景況調査(令和5年1月)DI値(前年同月比)

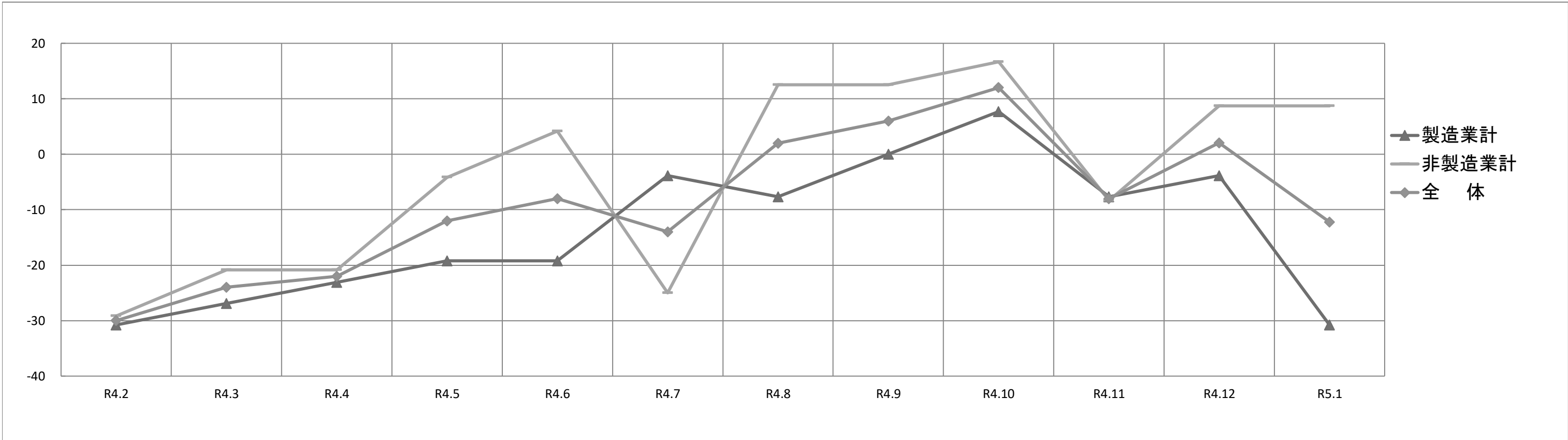
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)													
			増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 33.3	0	4	2	6	0.0	1	4	1	6	50.0	3	3	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 66.7	0	2	4	6	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 33.3	0	4	2	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	60.0	3	2	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	66.7	2	1	0	3	0.0	1	1	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	66.7	2	1	0	3	33.3	1	2	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
	製造業計	△ 30.8	2	14	10	26	0.0	4	18	4	26	11.5	6	17	3	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 57.7	0	11	15	26	△ 42.3	0	15	11	26	△ 7.7	3	18	5	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 38.5	0	16	10	26
非製造業	卸 売 業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	100.0	3	0	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小 売 業 (商店街含む)	27.3	5	4	2	11	△ 9.1	0	10	1	11	63.6	7	4	0	11	△ 18.2	1	7	3	11	△ 18.2	1	7	3	11	△ 27.3	0	8	3	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 9.1	1	8	2	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0					0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2		
	建 設 業	20.0	2	2	1	5					40.0	2	3	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0					1	4	0	5	20.0	1	4	0	5		
	運 輸 業	0.0	1	0	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0					0	1	1	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	8.7	8	9	6	23					△ 21.4	0	11	3	14	56.5	13	10	0	23	△ 8.7	1	19	3	23	△ 30.4	1	14	8	23	△ 21.7					0	18	5	23	△ 13.0	1	18	4	23	△ 17.4	2
全 体	△ 12.2	10	23	16	49	△ 7.5	4	29	7	40	32.7	19	27	3	49	△ 16.3	1	39	9	49	△ 44.9	1	25	23	49	△ 32.7	0	33	16	49	△ 7.7	3	18	5	26	△ 8.2	2	41	6	49	△ 28.6	2	31	16	49	

D I 値推移表（R4. 2月 ～ R5. 1月期）

《売上高の推移》

前年同月比	R4. 2	R4. 3	R4. 4	R4. 5	R4. 6	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 33.3
製造業（食料品製造業以外	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 10.0	10.0	0.0	10.0	15.0	▲ 5.0	10.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 3.8	▲ 7.7	0.0	7.7	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 30.8
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	33.3	0.0	0.0	▲ 66.7	0.0	66.7	0.0	▲ 66.7	0.0	▲ 33.3
小売業（商店街含む）	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 25.0	0.0	▲ 16.7	8.3	▲ 8.3	0.0	▲ 8.3	0.0	27.3
サービス業	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	0.0	▲ 40.0	20.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	40.0	▲ 20.0	0.0	20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 4.2	4.2	▲ 25.0	12.5	12.5	16.7	▲ 8.3	8.7	8.7
全体	▲ 30.0	▲ 24.0	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 14.0	2.0	6.0	12.0	▲ 8.0	2.0	▲ 12.2

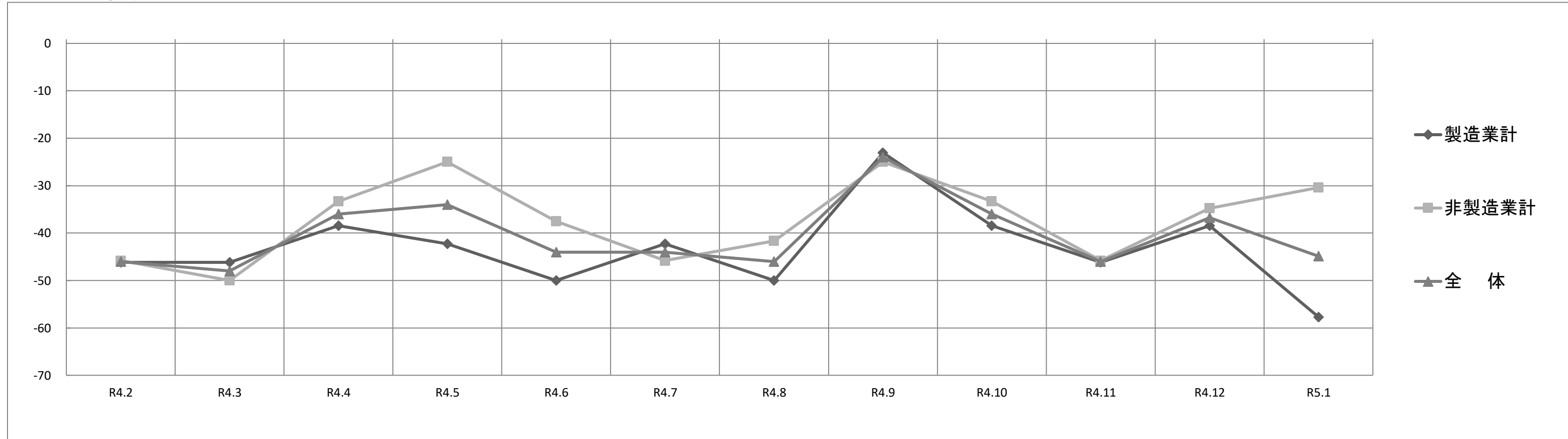
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R4. 2	R4. 3	R4. 4	R4. 5	R4. 6	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3
製造業（食料品製造業以外	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 50.0
製造業計	▲ 46.2	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 38.5	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 57.7
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業（商店街含む）	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 18.2
サービス業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0
建設業	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 40.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 45.8	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 45.8	▲ 34.8	▲ 30.4
全体	▲ 46.0	▲ 48.0	▲ 36.0	▲ 34.0	▲ 44.0	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 24.0	▲ 36.0	▲ 46.0	▲ 36.7	▲ 44.9

《収益推移グラフ》

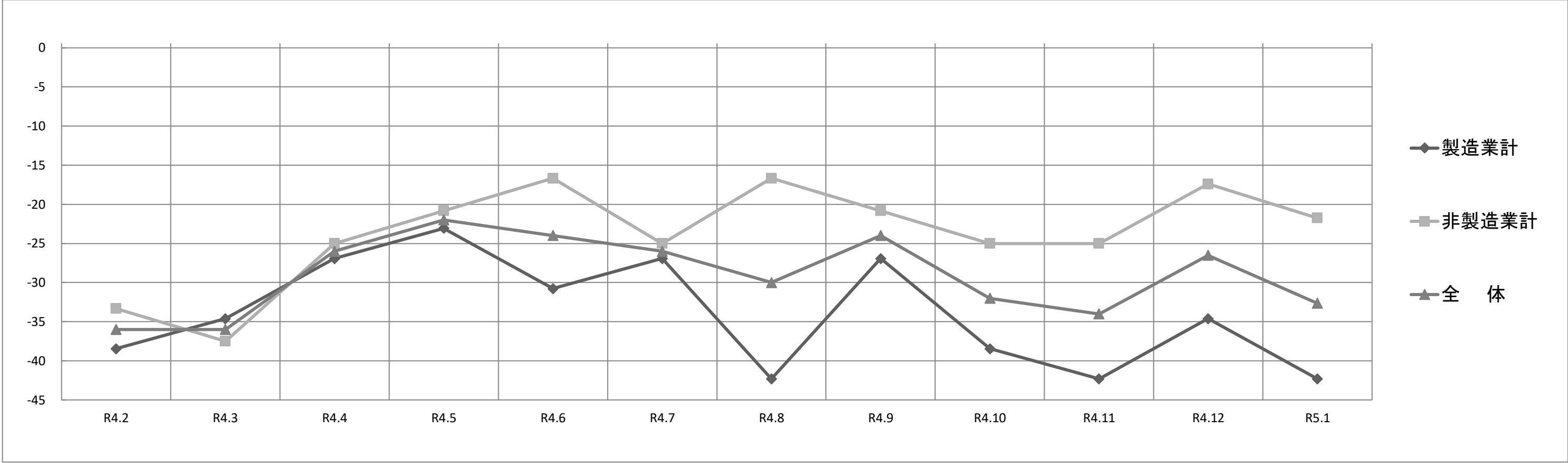


D I 値推移表（R4. 2月 ～ R5. 1月期）

《資金繰りの推移》

前年同月比	R4. 2	R4. 3	R4. 4	R4. 5	R4. 6	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1
食料品製造業	▲ 66. 7	▲ 83. 3	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 83. 3	▲ 50. 0	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7
製造業（食料品製造業以外	▲ 30. 0	▲ 20. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 30. 0	▲ 20. 0	▲ 30. 0	▲ 35. 0	▲ 25. 0	▲ 35. 0
製造業計	▲ 38. 5	▲ 34. 6	▲ 26. 9	▲ 23. 1	▲ 30. 8	▲ 26. 9	▲ 42. 3	▲ 26. 9	▲ 38. 5	▲ 42. 3	▲ 34. 6	▲ 42. 3
卸売業	▲ 33. 3	▲ 33. 3	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
小売業（商店街含む）	▲ 41. 7	▲ 50. 0	▲ 41. 7	▲ 33. 3	▲ 25. 0	▲ 41. 7	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 41. 7	▲ 41. 7	▲ 27. 3	▲ 27. 3
サービス業	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 50. 0
建設業	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 20. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
運輸業	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0
非製造業計	▲ 33. 3	▲ 37. 5	▲ 25. 0	▲ 20. 8	▲ 16. 7	▲ 25. 0	▲ 16. 7	▲ 20. 8	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 17. 4	▲ 21. 7
全体	▲ 36. 0	▲ 36. 0	▲ 26. 0	▲ 22. 0	▲ 24. 0	▲ 26. 0	▲ 30. 0	▲ 24. 0	▲ 32. 0	▲ 34. 0	▲ 26. 5	▲ 32. 7

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R4. 2	R4. 3	R4. 4	R4. 5	R4. 6	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1
食料品製造業	▲ 83. 3	▲ 83. 3	▲ 83. 3	▲ 33. 3	▲ 50. 0	▲ 66. 7	▲ 83. 3	▲ 33. 3	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 33. 3
製造業（食料品製造業以外	▲ 45. 0	▲ 40. 0	▲ 30. 0	▲ 40. 0	▲ 35. 0	▲ 40. 0	▲ 30. 0	▲ 20. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 40. 0
製造業計	▲ 53. 8	▲ 50. 0	▲ 42. 3	▲ 38. 5	▲ 38. 5	▲ 46. 2	▲ 42. 3	▲ 23. 1	▲ 30. 8	▲ 30. 8	▲ 26. 9	▲ 38. 5
卸売業	▲ 66. 7	▲ 66. 7	0. 0	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 66. 7	▲ 66. 7	0. 0	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7
小売業（商店街含む）	▲ 50. 0	▲ 41. 7	▲ 33. 3	▲ 8. 3	▲ 8. 3	▲ 8. 3	▲ 16. 7	▲ 50. 0	▲ 25. 0	▲ 33. 3	▲ 27. 3	▲ 9. 1
サービス業	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 100. 0
建設業	0. 0	▲ 40. 0	▲ 60. 0	▲ 40. 0	▲ 40. 0	▲ 20. 0	▲ 60. 0	▲ 20. 0	0. 0	0. 0	▲ 20. 0	20. 0
運輸業	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 100. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
非製造業計	▲ 41. 7	▲ 45. 8	▲ 33. 3	▲ 16. 7	▲ 20. 8	▲ 25. 0	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 20. 8	▲ 29. 2	▲ 30. 4	▲ 17. 4
全体	▲ 48. 0	▲ 48. 0	▲ 38. 0	▲ 28. 0	▲ 30. 0	▲ 36. 0	▲ 38. 0	▲ 28. 0	▲ 26. 0	▲ 30. 0	▲ 28. 6	▲ 28. 6

《景況推移グラフ》

